



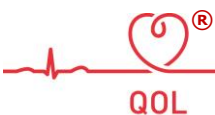
**WIN A BETTER QUALITY OF LIFE**  
INNOVATION  
PARTNERSHIP  
TRUST

**SAFETY**  
CREATE VALUE

**LEADERSHIP**  
HEALTHY SOCIETY

# 2019年3月期 決算説明資料

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)  
代表取締役社長 秋沢 英海



# 2019年3月期 決算概要

---

# 2019年3月期実績

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比	計画 (2月6日時点)
売上高	62,832	<b>69,775</b>	+11.1%	69,000
営業利益	3,144	<b>3,261</b>	+3.7%	3,260
経常利益	3,148	<b>3,264</b>	+3.7%	3,260
当期純利益	3,005	<b>2,640</b>	▲12.1%	2,600
1株当たり当期純利益(円)	104.69	<b>91.99</b>		90.57
1株当たり純資産(円)	618.78	<b>680.89</b>		—

# 2018年4月 診療報酬改定

---

## ① 過剰看護の是正

急性期入院基本料を7段階に細分化

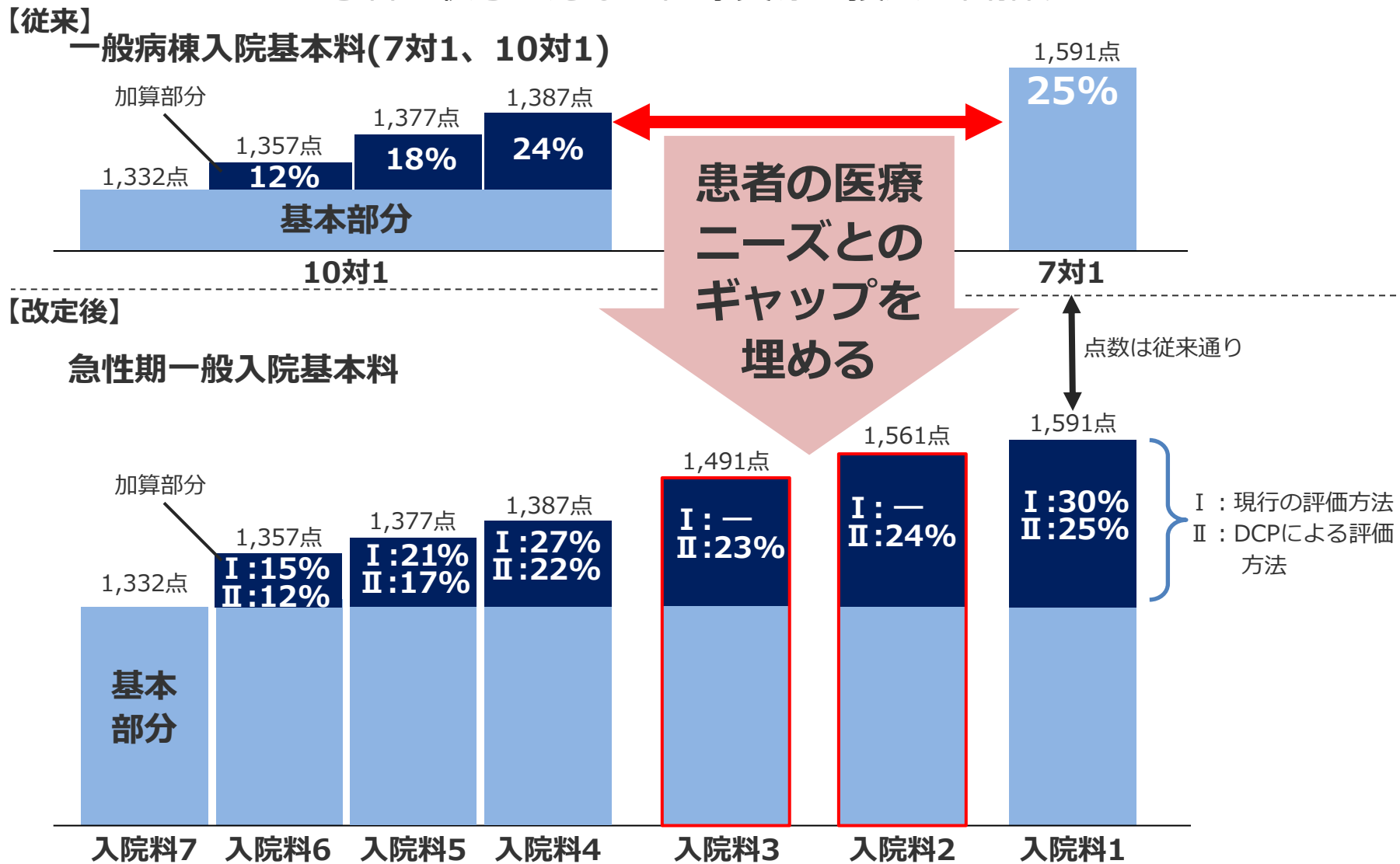
## ② 過剰治療の是正

適正基準評価導入(PCI診療報酬要件強化)

## ③ 償還価格の改定

# 急性期入院基本料

患者の状態に応じた医療資源の投入を目指す



# 適正基準評価

---

## PCI（安定狭心症）診療報酬要件の改定

### 従来

血管造影上75%以上の狭窄がある場合

### 改定後

75%以上90%未満の狭窄の場合、  
診療報酬明細書に医学的根拠を記載

術前検査の実施（機能的虚血評価）

# 償還価格改定:売上高への影響

分類	影響度 (%)
虚血性心疾患関連 (PCI)	▲10.6
心臓律動管理関連 (CRS)	▲5.5
心臓血管外科関連 (CVS)	▲0.9
末梢血管疾患関連 (PPI)	▲7.3
脳外科関連	▲2.0
その他	▲0.3
全体	▲5.9

( 2018年3月期の売上構成比・数量ベースでの試算 )

# 主要製品の償還価格

分類	製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		増減率(%)
		2016年	2018年	
PCI	PTCAバルーンカテーテル	59	45	▲23.3
	DES	226	193	▲14.6
	IVUS	100	89	▲10.5
CRS	ペースメーカー	739	831	12.4
	ペースメーカー(MRI対応型)	986	831	▲15.7
	ICD	2,890	3,040	5.2
	ICD(MRI対応型)	3,300	3,040	▲7.9
	CRTD	4,140	4,140	0.0
	CRTD(MRI対応型)	4,500	4,140	▲8.0
	皮下植込型除細動器(S-ICD)	3,060	3,060	0.0
	ABLカテーテル	143	133	▲7.0
	冷凍ABLカテーテル	637	637	0.0
CVS	ステントグラフト(腹部)	1,310	1,300	▲0.8
	オープン型ステントグラフト	1,090	1,090	0.0
	TAVI用生体弁(バルーン拡張型)	4,430	4,430	0.0
	TAVI用生体弁(自己拡張型)	3,670	3,670	0.0
PPI	PTAバルーンカテーテル	67	60	▲10.4
	末梢血管用ステント	188	179	▲4.8

※ペースメーカー、ICD、CRTD → MRI対応・非対応の区別なく一つの区分に統一



# 2019年3月期 主な取り組み

## ◆ PCI 症例対策の強化

---

適正運用支援、診療圏調査に基づく競合対策の提案

## ◆ 利益率改善策の導入

---

リベートプログラムや一括買取りの推進

## ◆ テスコ秋田販売とTescoの統合作業

---

7月1日吸収合併

## ◆ エムシーアイ子会社化

---

山形県と同業を子会社化(12月1日より連結)

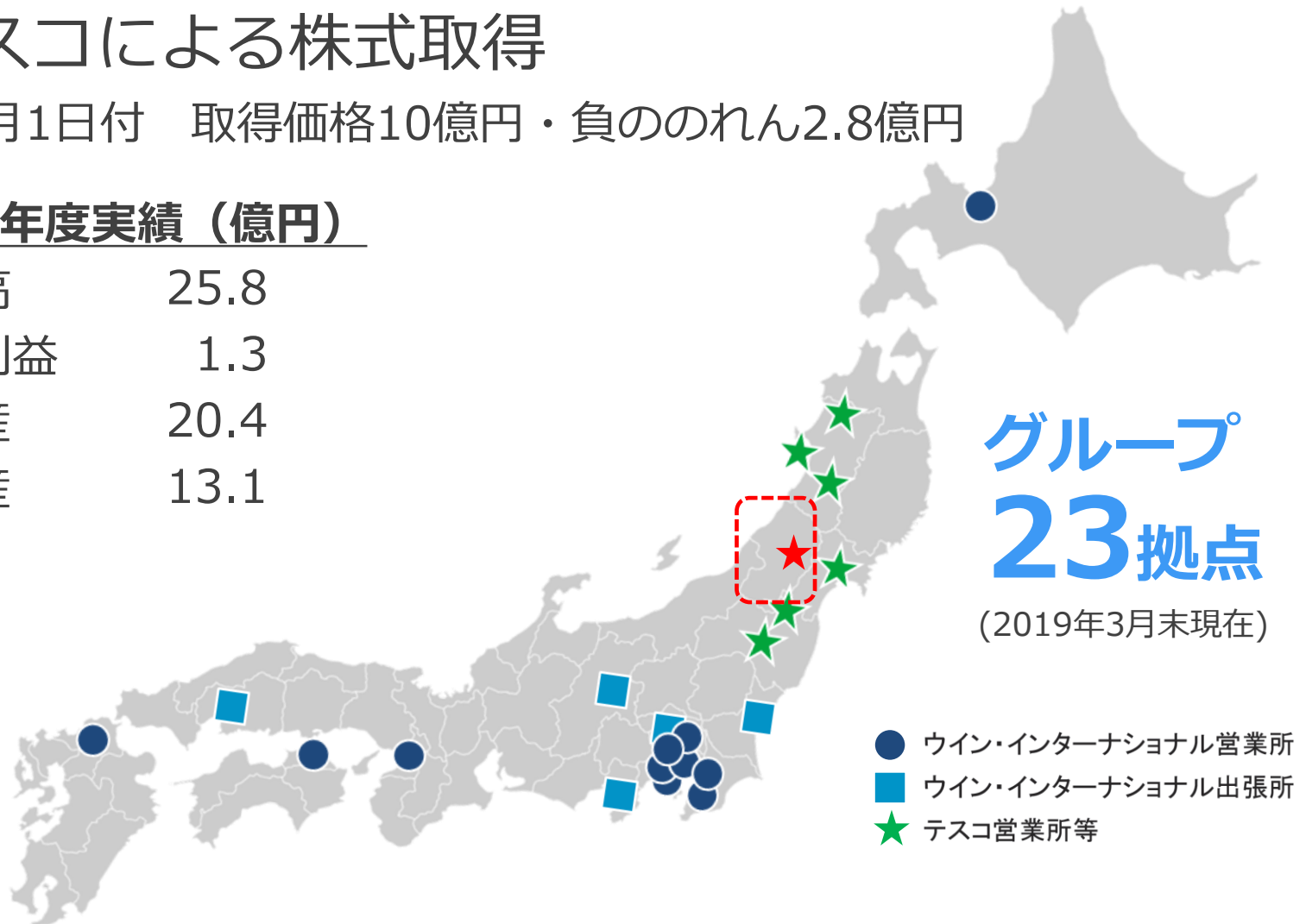
# エムシーアイについて

- ✓ 山形県天童市の医療機器販売会社
- ✓ テスコによる株式取得

12月1日付 取得価格10億円・負ののれん2.8億円

## 2017年度実績（億円）

売上高	25.8
営業利益	1.3
総資産	20.4
純資産	13.1



# 決算のポイント

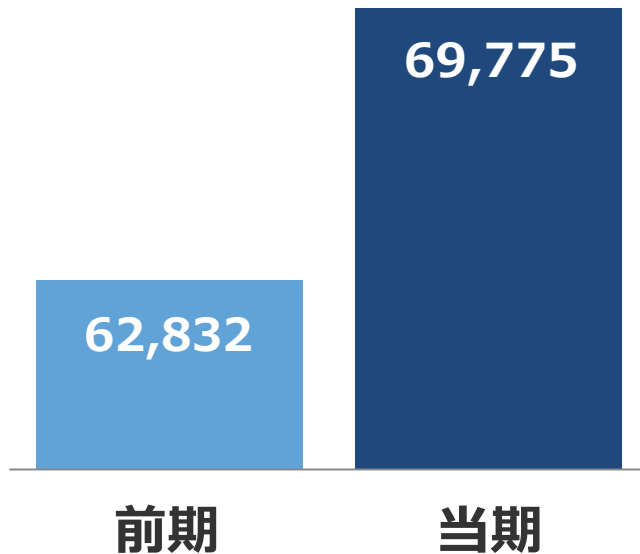
売上高 <sup>前期比</sup> + **11.1%** ( <sup>計画比</sup> + **1.1%** )

(単位：百万円)

テスコ秋田販売・エムシーアイ  
の影響を除くと実質 +5.9%

償還価格改定の影響(▲5.9%)  
を吸収

- ・ CRS・CVS・DMS・大型機器等が好調
- ・ PCI症例数の減少続く



# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	前期比 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連 (PCI)	21,320	+2.6	▲7.3	30.6	▲6.0
心臓律動管理関連 (CRS)	17,625	+20.9	+16.5	25.3	+1.2
心臓血管外科関連 (CVS)	9,775	▲ 2.1	+17.5	14.0	+0.8
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,463	+16.6	+6.9	5.0	▲0.2
脳外科関連	2,486	+14.5	+14.9	3.6	+0.1
糖尿病関連 (DMS)	1,821	-	+51.3	2.6	+0.7
大型医療機器関連	6,691	-	+69.5	9.6	+3.3
その他	6,590	-	+13.0	9.4	+0.2
合計	69,775	-	+11.1	100.0	

# 分類別売上高ハイライト(対前期)

**PCI** 償還価格下落(▲10.6%)に加え、症例数減が続く

---

**CRS** 償還価格下落の影響(▲5.5%)を数量増で吸収  
アブレーション関連は2割増収

---

**CVS** TAVI関連が4割増収  
旧テスコ秋田販売の一部製品の取引見直しで全体数量は微減

---

**PPI** 償還価格下落(▲7.3%)をPTAバルーンの数量増で吸収

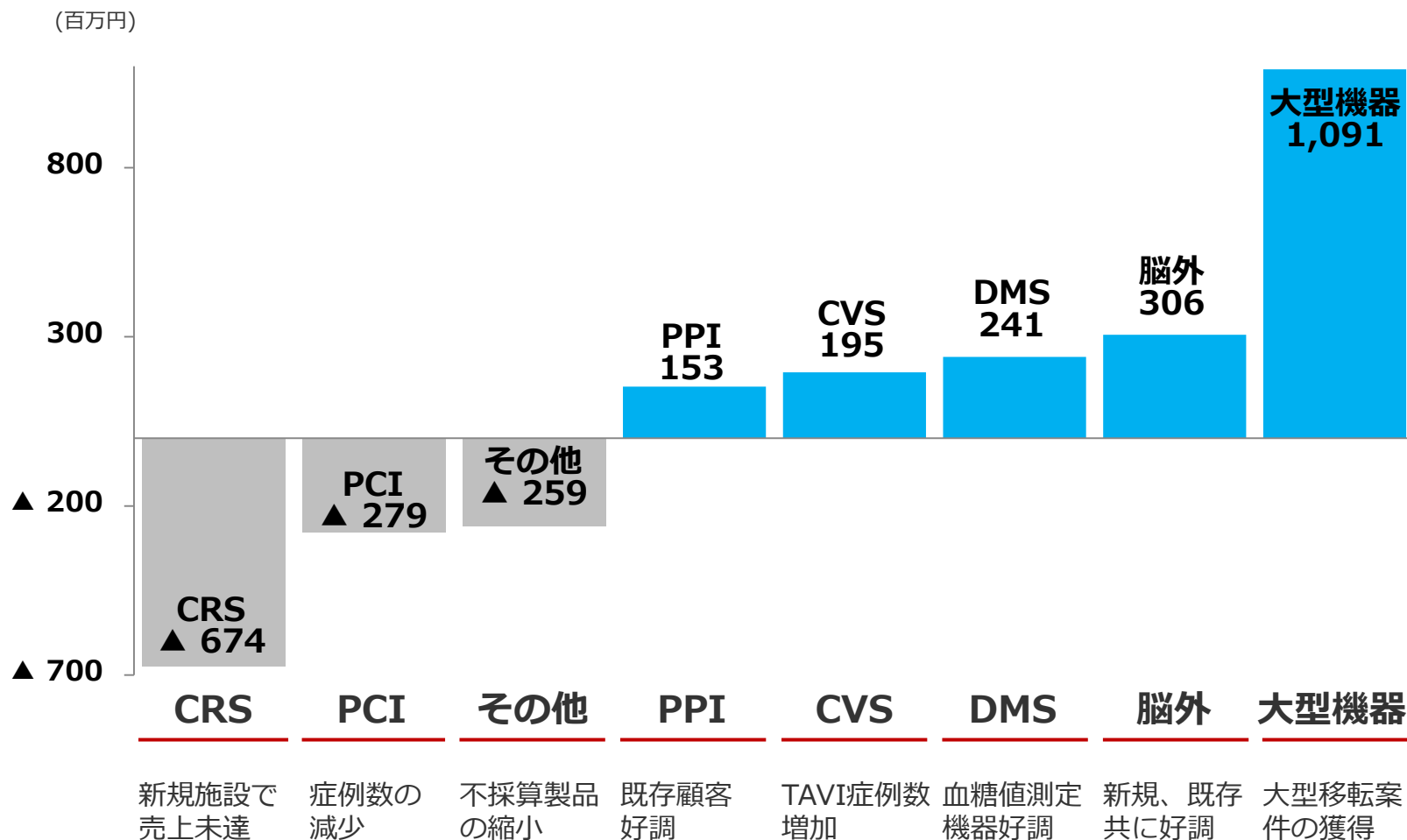
---

**大型医療  
機器関連** 東北の移転案件が寄与

---

# 分類別売上高ハイライト(対計画)

合計：+775(百万円)



# 決算のポイント

営業利益 <sup>前期比</sup> + 3.7% ( <sup>計画比</sup> +0% )

(単位：百万円)

売上総利益率 12.3%(前期比▲0.5pt)

- ・ 売上ミックスの悪化(PCI減収、大型機器増収)により計画(12.6%)も未達

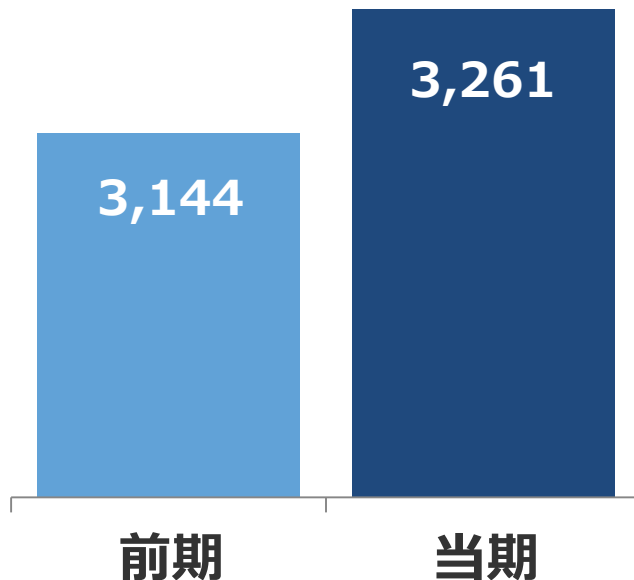
販売管理費 <sup>前期比</sup> +9.2%

うち人件費は +11.2%

旧テスコ秋田販売、エムシーアイの人件費上乘せ

〔人員数〕前期末 517名 → 当期末 536名

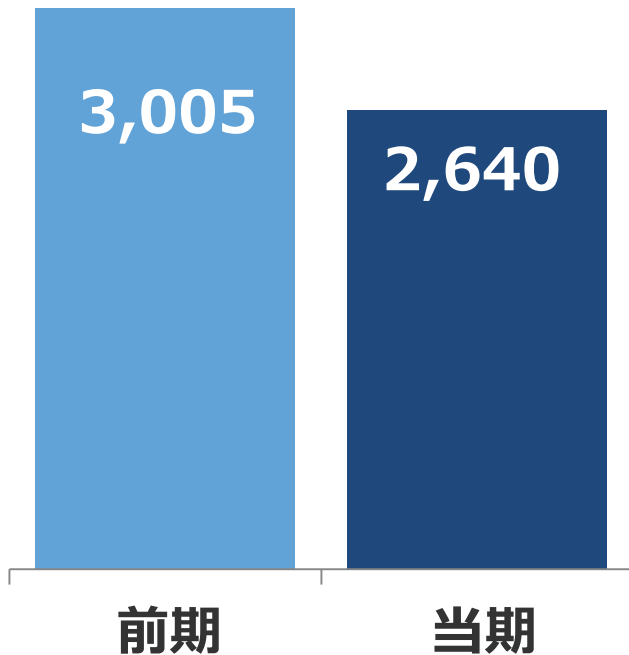
(エムシーアイ10名含む)



# 決算のポイント

当期純利益 <sup>前期比</sup> ▲12.1% ( <sup>計画比</sup> +1.6% )

(単位：百万円)



エムシーアイの負ののれん  
発生益2.8億円を計上



# 連結損益計算書

	前期		当期	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
<b>売上高</b>	<b>62,832</b>	<b>100.0</b>	<b>69,775</b>	<b>100.0</b>
売上原価	54,787	87.2	61,163	87.7
<b>売上総利益</b>	<b>8,044</b>	<b>12.8</b>	<b>8,612</b>	<b>12.3</b>
販売管理費	4,900	7.8	5,351	7.7
<b>営業利益</b>	<b>3,144</b>	<b>5.0</b>	<b>3,261</b>	<b>4.7</b>
営業外収益	9	0.0	8	0.0
営業外費用	5	0.0	5	0.0
<b>経常利益</b>	<b>3,148</b>	<b>5.0</b>	<b>3,264</b>	<b>4.7</b>
特別利益	734	1.2	279	0.4
特別損失	55	0.1	4	0.0
<b>税前利益</b>	<b>3,826</b>	<b>6.1</b>	<b>3,540</b>	<b>5.1</b>
税金費用	821	1.3	899	1.3
<b>当期純利益</b>	<b>3,005</b>	<b>4.8</b>	<b>2,640</b>	<b>3.8</b>

# 連結貸借対照表

	2018年3月末		2019年3月末		増減 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	<b>33,033</b>	91.3	<b>36,754</b>	<b>92.1</b>	<b>3,721</b>
現金・預金	13,317	36.8	15,289	38.3	1,972
売上債権	17,377	48.0	18,361	46.0	984
商品	1,646	4.6	2,335	5.9	688
その他流動資産	692	1.9	767	1.9	75
<b>固定資産</b>	<b>3,154</b>	8.7	<b>3,156</b>	<b>7.9</b>	<b>2</b>
<b>資産合計</b>	<b>36,188</b>	100.0	<b>39,910</b>	<b>100.0</b>	<b>3,722</b>
<b>流動負債</b>	<b>17,635</b>	48.7	<b>19,439</b>	<b>48.7</b>	<b>1,804</b>
仕入債務	16,388	45.3	18,168	45.5	1,780
未払法人税等	485	1.3	484	1.2	▲1
その他流動負債	760	2.1	786	2.0	26
<b>固定負債</b>	<b>788</b>	2.2	<b>924</b>	<b>2.3</b>	<b>136</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,424</b>	50.9	<b>20,363</b>	<b>51.0</b>	<b>1,939</b>
<b>純資産合計</b>	<b>17,764</b>	49.1	<b>19,547</b>	<b>49.0</b>	<b>1,783</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>36,188</b>	100.0	<b>39,910</b>	<b>100.0</b>	<b>3,722</b>

エムシーアイ  
395百万円含

エムシーアイ  
476百万円含

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,343</b>	<b>2,289</b>
税金等調整前当期純利益	3,826	3,540
減価償却費	261	237
投資有価証券売損益 (▲は益)	▲38	1
負ののれん発生益	▲684	▲278
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲1,393	▲594
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	365	▲651
仕入債務の増減額 (▲は減少)	▲49	1,321
法人税等の支払額	▲927	▲964
その他	▲16	▲321
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>764</b>	<b>▲4,484</b>
定期預金の預入れによる支出	-	▲5,000
有形固定資産の取得による支出	▲198	▲91
固定資産の売却による収入	115	7
投資有価証券の売却による収入	280	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	604	613
その他	▲37	▲24
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲746</b>	<b>▲832</b>
配当金の支払額	▲746	▲832
<b>現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)</b>	<b>1,362</b>	<b>▲3,027</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>11,954</b>	<b>13,317</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>13,317</b>	<b>10,289</b>

# 2020年3月期の見通し

---

# 2019年10月診療報酬改定

## 材料価格はネットでプラス 個別の償還価格は未定

### 改定

<b>1. 本体</b>	+0.41%	+200億円
医科	+0.48%	+170億円
歯科	+0.57%	+20億円
調剤	+0.12%	+10億円
<b>2. 薬価等</b>		
薬価	▲0.51%	▲290億円
消費税対応分	+0.42%	+200億円
実勢価改定等	▲0.93%	▲490億円
<b>材料価格</b>	<b>+0.03%</b>	<b>+20億円</b>
消費税対応分	+0.06%	+30億円
実勢価改定等	▲0.02%	▲10億円

# 今期の重点施策

---

## ① 粗利益率向上

価格交渉の強化、消費税の転嫁

## ② 新規顧客開拓

次世代ドクターへのアプローチ

## ③ 既存顧客の深耕

顧客分析強化、課題解決策の提案

## ④ 生産性の向上

商物分離、基幹システム刷新

## ⑤ M&A推進、グループ管理強化

管理本部の新設

# 2020年3月期 通期予想

2020年3月期

金額 (百万円)

前期比 (%)

百分比 (%)

売	上	高	<b>71,000</b>	<b>+1.8</b>	100.0
営	業	利	<b>3,300</b>	<b>+1.2</b>	4.6
経	常	利	<b>3,300</b>	<b>+1.1</b>	4.6
当	期	純	<b>2,260</b>	<b>▲14.4</b>	3.2

1株当たり当期純利益(円)

**78.72**

1株当たり配当金 (円)

**33.00**

# 業績予想のポイント

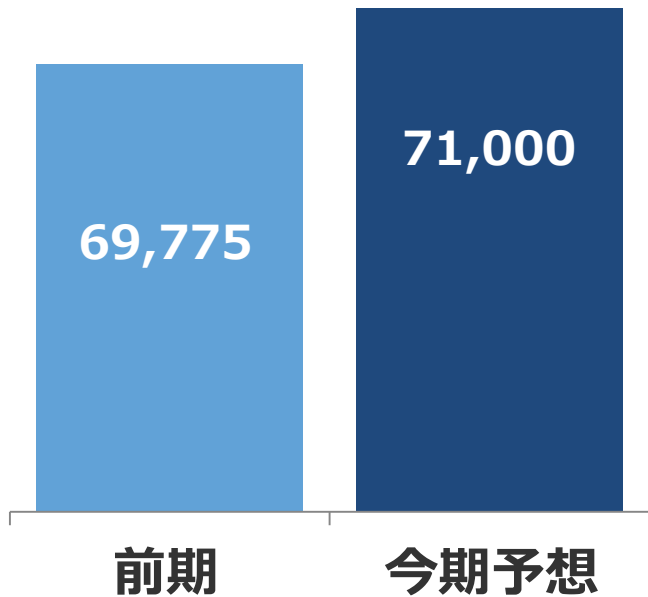
売上高 前期比 **+1.8%**

エムシーアイの通年寄与

償還価格改定の影響は  
下期1%程度を想定

大型機器は前期の大型案件の  
反動減

(単位：百万円)





# 分類別売上高見通し

(単位：百万円)

	金額	前期比	構成比
虚血性心疾患関連 (PCI)	22,780	+6.8%	32.1%
心臓律動管理関連 (CRS)	19,460	+10.4%	27.4%
心臓血管外科関連 (CVS)	10,500	+7.4%	14.8%
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,800	+9.7%	5.4%
脳外科関連	2,490	+0.1%	3.5%
糖尿病関連 (DMS)	2,050	+12.6%	2.9%
大型機器関連	4,540	▲32.2%	6.4%
その他	5,380	▲18.4%	7.6%
合計	71,000	+1.8%	100.0%

# 業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+1.2%**

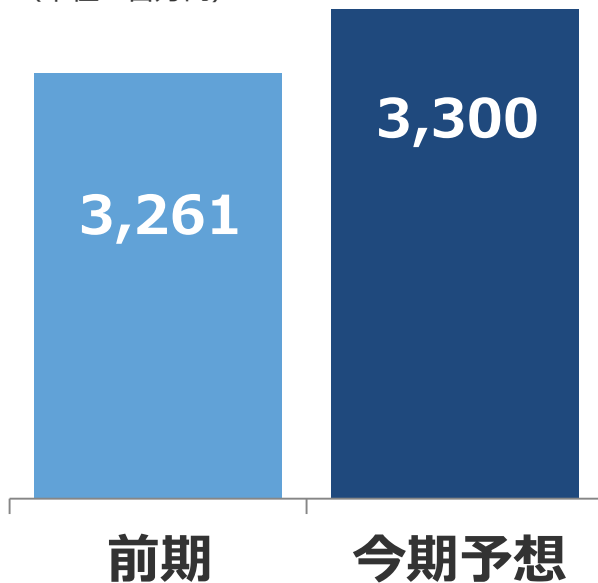
売上総利益率 前期比 **+0.5pt**

- ・ 消耗品の価格交渉強化、大型機器の利益率改善等

販売管理費 前期比 **+9.1%**

- ・ 人件費の増加 (人員数 前期末**536名** ⇒ **584名**)

(単位：百万円)

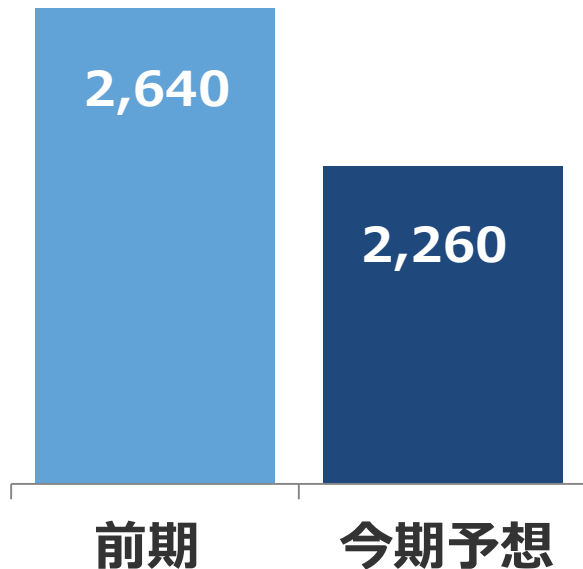


# 業績予想のポイント

当期純利益 前期比 ▲14.4%

## 負ののれん発生益の反動減

(単位：百万円)



設備投資 **1.3 億円**

(前期実績 **1.4 億円**)

減価償却費 **2.2 億円**

(前期実績 **2.4 億円**)

# 配当方針

業績、経営基盤の強化および  
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

配当性向**30%**以上を目指します

2020年3月期 配当金予想

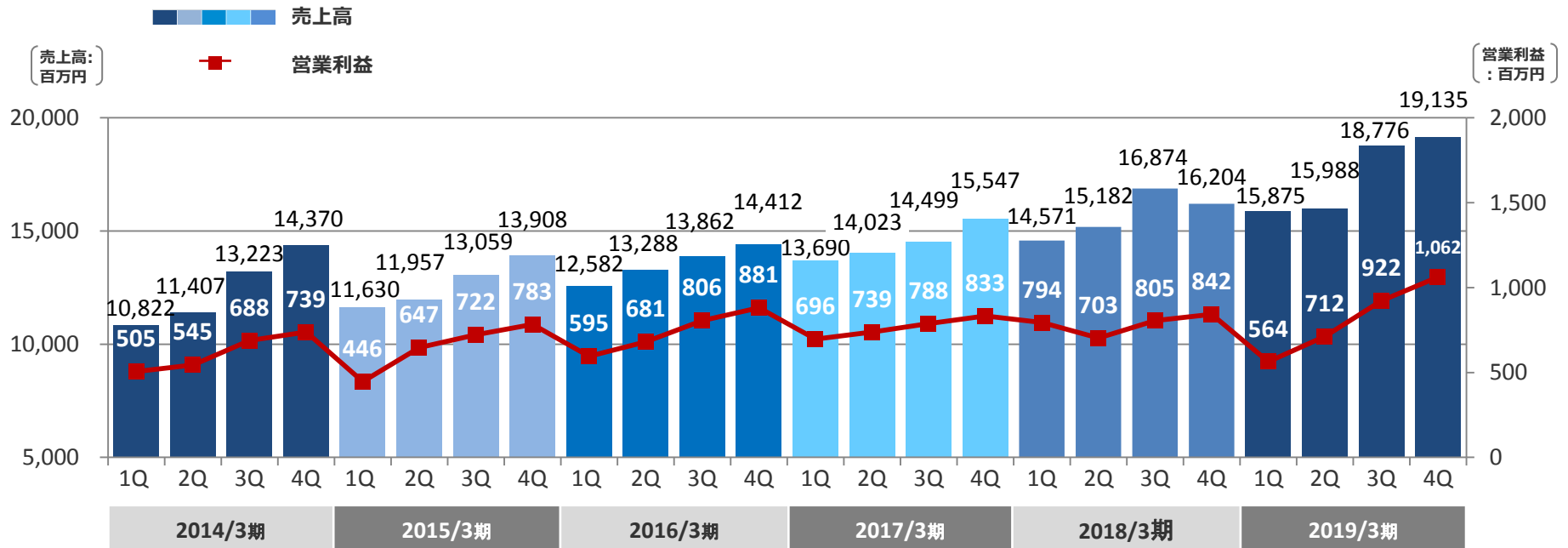
期末**33**円（配当性向  
42%）

# (参考) 主要取扱製品

分類	主な疾患	主な医療機器			
PCI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭心症</li> <li>・心筋梗塞</li> </ul>	PTCAバルーンカテーテル	薬剤溶出型ステント (DES)	血管内超音波診断カテーテル (IVUS)	
					
CRS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整脈</li> </ul>	ペースメーカー	植込型除細動器 (ICD)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)	心筋焼灼術用カテーテル
					
CVS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大動脈瘤</li> <li>・大動脈弁狭窄症</li> </ul>	ステントグラフト	経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)用生体弁	機械弁	
					
PPI 脳外科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢閉鎖性動脈硬化症</li> </ul>	末梢血管用ステント	頸動脈用ステント	塞栓用コイル	
					
DMS 大型医療機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病</li> <li>・検査</li> </ul>	インスリンポンプ	移動式X線撮影装置	磁気共鳴画像診断装置(MRI)	
					

# (参考) 四半期業績推移

## 売上高／営業利益の推移(四半期)



■ = 償還改定期

# 株価推移

(単位:円)





**WIN PARTNERS**  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

## ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。  
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、  
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2019年5月23日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。  
投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**本資料に関するお問合せ先**  
**ウイン・パートナーズ株式会社 社長室**  
**TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791**  
**HP : <http://www.win-partners.co.jp>**